

会 議 要 録

| | | |
|---------------|---|-------------|
| 会 議 名 | 平成 29 年度 第 1 回西予市社会教育委員会 | |
| 事 務 局 | 西予市教育委員会教育部生涯学習課生涯学習係 | |
| | 電 話 0894-62-6415 | |
| | F A X 0894-62-0692 | |
| 日 時 | 平成 29 年 7 月 20 日 (木) 9 : 00 ~ 12 : 00 | |
| 場 所 | 西予市教育保健センター 4 階 大ホール | |
| 出席者 | 委 員 | 12 名 / 20 名 |
| | 事務局 | 27 名 |
| 議 事 内 容 (要 旨) | | |
| 議事内容(要旨) | <p>1 平成 29 年度教育基本方針、社会教育基本方針について 平成 29 年度社会教育計画書を基に、生涯学習課長が説明</p> <p>2 平成 29 年度活動計画について 平成 29 年度社会教育計画書を基に、生涯学習課長→文化体育振興課長→明浜教育課長→野村教育課長→城川教育課長→三瓶教育課長→西予市民図書館長 説明</p> <p>3 平成 29 年度社会教育関連予算 平成 29 年度社会教育計画書を基に、生涯学習課・文化体育振興課説明</p> <p>4 平成 29 年度補助事業について ・西予市放課後子どもプラン進捗状況説明 (事務局) ・せいよ家庭教育・子育て応援グループ事業説明 (事務局)</p> <p>5 専門部会について ・専門部会の進め方、協議内容について事務局より説明</p> <p>6 その他 (質疑応答含む) (委員) 老人クラブの関係 県の老人クラブ連合会の会議で、アクティブシルバーサイクリングが提唱された。全国的には 60 歳で入会できる。老人クラブでは、75 歳以下の若手委員会ができた。ヘルメット着用も推進している。</p> | |

西予市の道路はアップダウンが大きく、道幅が狭い。しまなみ海道では大島でサイクリングをしている。西予市においても何かイベントをしてはどうか。

ある市は一般のサイクリングイベントをしていてそれに老人クラブが便乗してやる予定と聞いた。野村教育課のサイクリングイベントを初めて聞いた。どのようなイベントか。また老人クラブも参加できないか。

(野村教育課長)

野村・城川地区のコースは、ビギナーコース 48.6 キロ、エキスパートコース 80 キロ超、ビギナーコースは乙亥会館から坂石方面を通過し、城川土居地区から龍澤寺へ周回して乙亥会館へ戻るコースです。

エキスパートは中筋から溪筋の峠をぬける。441 号線を出合に出て、朝霧湖マラソンコースを通り、ビギナーコースと同じコースで回る。

コースの設定は事前に警察、土木事務所と協議が必要。道路を横断する右折が入るコース設定は許可が難しく、左折の指導がある。

マラソンは通行制限ができるが、自転車は一般車両扱いでそうできない。交差点に人員を配置して安全に気を付け横断していただくよう徹底している。

自転車のレンタルもあり、活用している。

エイドを作って、あちこちで休憩していただいている。

今年度は 25 日からエントリー開始。

年齢制限はなく、健康で走れる自信があれば参加可能。

(委員)

放課後こども教室は、どこの地区の子どもが対象で、人数や頻度も教えてほしい。

(社会教育主事)

野村地区では週に 3 回、地元の小中学生にダンス指導をしたり、ジオパーク学習をしている。

1 回の参加者は 5～10 人程度。時間はダンスが毎週火、土曜日の 17 時から 19 時、体験学習は毎週木曜日の 16 時から 18 時に実施している。

(委員)

イメージからすれば、放課後の児童館のようなイメージがあったが、そのような活動か。

(野村教育課長)

学びの機会の提供ということでやっている。

(教育長)

子どもを預かる学童保育は野村町でも実施している。所管は厚生労働省。教育委員会でも今年度より土曜日に学習支援の事業を行いたい。教職OBの方に呼びかけを行っているが、十分人数が揃わない。揃い次第市内全域で退職した先生方、それ以外の方おられましたら、ご協力をいただきたい。

(委員)

・国体について

一般の方が応援に行きたい場合、駐車場や渋滞が心配されるが、マイカーを利用しても駐車可能か。

・公民館事業について

少子化で通学合宿を実施する公民館主事は大変だが、宇和の報告でもあったように中学生のスタッフに入ってもらおう等、地域の人材を巻き込んで続けていただければと思う。1年でも多くしていただければ・・・

・門松ライトアップについて

日本のもので日本一を目指すと、世界一になるからいいアイデア。中筋の蛍を見に行きたい。蛍情報の発信があればよい。

・城川

古民家に新たな命を吹き込んでほしい。大洲では障子の張替えボランティアを地域の方がしている事例がある。

・三瓶

SUP や科学実験の広報を見たことがなかった。町外の方も参加できるか。広報の方法について知りたい。

(国体推進室長)

ソフトボールの競技会場は宇和球場と運動公園。宇和球場の近くに駐車場を新設したが、役員や係員で使用するため一般観覧者は利用できない。そのため、宇和高校の運動場と農場を駐車場として借りている。運動公園は、宇和文化会館駐車場と支援学校を借りている。シャトルバスを運行する。

相撲については、野村高校運動場、野村運動公園グラウンドを臨時駐車場にしている。ここもシャトルバスが出る。

(宇和代表主事)

通学合宿は子どもたちも喜んでいる事業であり、できる限り続けたい。

(教育部長)

大門松については、地域づくり手上げ型交付金に応募し、まだ結果は出していないが、閉校になった中筋小学校グラウンドに設置予定。自治振興会の観光部会が主体となって取り組んでいる。校舎より高くなると聞いている。竹は青年が切る、ハボタンは婦人会、子どもも関わり老人会はしめ縄を編む。

地域のまとまりや活性化を目的にしているが、正月に故郷へ帰ってほしい呼びかけも兼ねている。今世界一は長崎県にあるが、そこも視察に行き、それ以上を目指すよう前向きに積極的に取り組んでいる。

(城川代表主事)

古民家といっても地域の空き家。それを所有者が提供している。過去総務省の補助金で改修、過去の広報せいよでも取り上げた。1年間のお試し移住で移住者に貸して、定住化を図っていく。ここ数年、移住定住フェアに参加するなど積極的に活動してきた。それが実り9月以降に第1号の移住者の見込みがある。

(三瓶代表主事)

SUPに関しては数に限りがあるので、地域住民に対象を絞っている。科学教室は40人を見込み、三瓶町内の児童で埋まってしまうので、町外への案内は難しい。講師は県科学博物館の学芸員なので、各地域にお招きするのがよいのでは。

(委員)

四国曹洞宗の青年会で福島の子達を招き、徳島県でキャンプをする。ペットボトルでいかだを作るのはどれくらいがかかるのか？

(主事)

ペットボトル240個の上にコンパネの天板を付ける。

だいたい2時間半から3時間。半日あれば作成可能。興味があれば8月1日に作成、8月2日いかだを浮かべる予定である。

(委員)

お寺にいるのでいけないが、資料があればいただきたい。

(主事)

資料は野村教育課に送ります。

(委員)

7月の最初にテレビ番組があり、夏休みのキャンプ事業で県か自治体の検査が入り、申請をしていないからできないという特集があったが、西予市のキャンプ事業はどうか。市も県から通知が来ていると思うが、どのようなことか説明いただきたい。

(主事)

県から通知があり、市の教育委員会としても対象となるツアーがいくつかあるか調べた。移動サービス、宿泊サービスを旅行業法の免許持っていない者はできない。

婦人会等の顔見知りで行く場合や民間業者に頼んだ場合は大丈夫。市バス利用やキャンプの場合は大丈夫ではないかと県から回答をいただいている。しかし他地区では中止したケースもあり、経済振興課と協力し愛媛県で何らかの方針を出すということになっている。

(委員長)

石城公民館で婚活事業をするよう計画されているが、内容を教えてほしい。

(主事)

把握できていないので後日回答させていただきたい。

(委員長)

婚活に興味があるので、西予市の人口減少歯止めにもなるので、各町積極的にしていただければ。

(生涯学習課補佐)

婚活に関して、資料 11 ページ

総合教育に記載しているが、西予市結婚推進委員会があり、推進委員 53 名で活動している。

結婚相談所を宇和では毎月、その他の地区では二ヵ月に 1 回開催している。年間 2 回婚活イベントを開催しており 9 月の若者コースでは、三瓶町で屋形船ジオツアー、2 月の熟年コースでは 40 歳以上を対象にし、宇和の町並みで開催。昨年度の熟年コースでは一組成婚した。

(委員)

7月5日付愛媛新聞に県内高齢化率が公表された。西予市は県内 6 番目。NHK のニュースでも小集落は消滅すると話題になっていた。城川

は3名しか出生しない年もあった。小さい部落は自治活動ができなくなってきている。稲生は既存世帯より新入世帯が多くなった。皆田も2割は新入世帯。下川は新入がない。75戸あるが58戸が家にいる。17戸は空き家。10戸は完全に帰ってこない。田之筋公民館は住民参画型の会議をされている。過去に青年団で地域の問題について学習してよく理解されていた。若い人は子育てに一生懸命でなかなかできないが、農林業が地域を守っていたが、今は70代80代が地域を守っている。今、法人化した地区があるが、他の地区はなかなかできない。10年後には田んぼが作れない……。どうしてこれを守っていかうか。空家だけではなく畑も荒れて手が入らない。雨が降ると水路が埋まり、下の家が困る。地域が一生懸命守って災害防止に努めているが環境をどう守るのか、持ち家がある以上は出て行った者も関わってもらわないと、故郷を守れなくなる。徹底的に現状分析して、調査、勉強会をするべき。高齢化も少子化も進む中、40代の単身者も多い、子どもは帰ってこないし地域は衰退してく。公民館も色々と事業を実施しているが、自治機能が維持できなくなる現実が目の前に来ているということを皆が自覚してほしい。回覧も回らなくなってきている。現状に合った自治会を作らなければならないが簡単ではない。若い人に失礼だが、一生懸命働くのはよいが、発想を変えて地域を変えていく取り組みをしないと。公民館活動も前のままでずるずる来ている。自治会も一緒。

何か発想を変えて取り組まないといけない。公民館活動にも危機感を持ってほしい。

近くに移住者が来たが、農地法で畑の登記はできなかった。農業委員会にも空き家に来る方は宅地と一緒に農地は特別に登記できるようにしてあげないと、来る方はいない。家売る人は農地も一緒に売りたい。ぜひ、調査と地域存続のため住民との会議をしてほしい。主事さん一人では難しいが、職員を付けて、将来の方向性を出せるようにしていただくと、地域の人も立ち上がる。

市内高等学校が3校あるが、せつかく育てても外に出て行ってしまう。将来を見据えて地域に残ってくれるような方法を考えてほしい。

一番は現状分析をして、地域が消滅しないように皆で取り組むような方向で行けばありがたい。

(教育長)

大変深刻かつ深い問題なので、この場で簡単に申し上げることは難しいが、公民館の在り方ということに関しては、今地域づくりの団体が各地

区にあり、取り組みを進めている。この延長線上に人、公民館が従来の社会教育を主体とした場として機能すればよいのか、もう少し地域づくりと幅広くとらえて進めていくのがよいのか、問題意識を持っている。従来の在り方を越えなければいけないとも思っている。今の公民館でも成人教育の中で地域課題について地域住民の方と語り合うことができなくはない。そのような形で関わっていきたい。昨日も八幡浜で大学の先生の講演があった。地域で子どもたちを育てて、その子どもたちが地域を支える循環を作っていかなければならない。そのためには小学生の頃から地域に愛着を持つ子を育てなければならないとのことだった。高校も地域との連携が希薄になっているが、高校生も地域の担い手という意識で育てなければならぬと言われていた。西予には特別支援も含めて4校ある。今後危機感はあるが、3校が魅力化プロジェクトを作り、合同してそれぞれの魅力を高める動きが始まっている。さしあたり島根県隠岐で地域づくり、高校を魅力化して区域外から学生を呼び込んだ実績を持つ方の講演も予定されている。今の提言をさらに具体化できるように関わっていきたい。具体的な答えは難しいが、とりあえずの現状報告ということでお話しした。

議事終了後、専門部会（家庭教育、青少年教育、成人・高齢者教育、人権・同和教育、社会体育・文化教育）に分かれ協議を行った。